

花のある空間

大高 令子

春爛漫 桜色のアレンジメント

春をイメージする色は、フランスでは黄色ですが、日本ではなんといっても桜の花に代表される淡い桜色でしょう。

日本列島が桜前線の北上に華やぐ3月、室内にも桜色の花を添えて春爛漫を楽しみましょう。

まず、ある程度口が広い花器を用意して、フローラルフォームをセットします。

キヅタを挿して、アレンジ全体の高さ、幅、厚みといったアウトラインとサイズ感を決めます。

次に、アウトラインの間を花の色で埋めるように、花を挿していきます。

まずは、バラ（フェアビアンカ）、次にダリア、バラ（フラクタルヴァーズ）の順に、大きめの花から挿していきます。

どの花もフローラルフォームのある1点に茎が向かうように、言い換えれば器のなかのある1点から植物が放射状にあふれ出すように挿すとバランスよくまとまります。

続いて、ポピーをアクセントになるように、最後にパンジーを動きを加えるように挿していきます。

植物の茎は、すべて鋭利に斜めにカットして深く挿すということを基本にしていますが、パンジーやポピーのように春咲きの茎の柔らかい植物は、挿しやすさを優先して真っすぐにカットするとよいでしょう。



今月の花材

バラ [フェアビアンカ=白/フラクタルヴァーズ=ピンク]

ダリア …… ギザギザした花卉の淡いピンクの花

ポピー …… 向かって左端の白い花

パンジー …… 外郭のひらひらした紫の花

キヅタ …… 深い緑色の実と葉

その他 …… 花器

フローラルフォーム (フラワーアレンジメント用のスポンジ)

おおたか れいこ <https://rencontrer.jp/>

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。フランスで培ったフローラルワークを手がける。